

## 4階西病棟この1年の振り返り

4階西病棟看護科長 高橋みさ子

平成13年の4階西病棟は以下の3点を、目標としてスタッフ全員で取り組んだ。

- 1, 患者様が安全・安楽に療養生活が送れるように努める。
- 2, 患者様に質のよい看護を提供する。
- 3, 看護研究に取り組み、知識・技術を研鑽する。

具体的には、

①ネームバンドの確認を徹底する。

平成12年11月よりネームバンドの使用が開始された。当初心配された患者様の反対の言葉も思いのほか少なく使用することが出来た。与薬・検査など様々な場面でネームバンドを使用し確認がなされている。ネームバンドを付けていただいている患者様のご協力に感謝し、確認の徹底を更に指導していきたい。

②導入したクリティカルパスを評価・改善する。

循環器呼吸器内科では心臓カテーテル検査用パスを使用している。使用後看護記録や指示のスペースが狭いとの意見があり改善した。その後検査方法・使用薬剤の変更があり修正が必要となっている。パスの使用は検査の一部でしか使用されておらず、再度医師との確認の上改善し、記録の簡略化を図るためにも使用数を増加したい。疾患用パスは使用数が少なく継続して評価とする。今年度は麻疹の患者様の入院が多くあり皮膚科循環器内科の両科で入院した。今後のパス作成の参考にしたい。

③より良い看護を提供するために、業務改善を図る。

毎月の詰め所会議の中で、業務に気づいた点を話し合った。内服薬の取り扱いと抗生剤のテストの確認・記載方法について検討した。現在業務委員が病棟内手順として整理している。

④看護計画と看護記録の見直し

看護記録については、フォーカスチャーティングを継続している。短大の佐藤先生を講師に御願いし、実際の看護記録の中から取り上げて勉強会で検討した。

又重症者に使用していた経過表を見直しフローシートを使い評価中である。

看護計画については、立案から評価日の間の情報が少なく計画の修正が遅れることが見受けられる。毎日のカンファレンスを有効に活用したい。診療録の開示がなされ書式の整備はされましたが看護記録の内容の充実し看護過程の推進するために研修への参加も考えていきたい。

⑤接遇目標を立てて努力する。

接遇委員を中心に毎月の目標を立てて、実施した。4月からは院内の接遇委員として参加した。患者様の接遇にはまずスタッフからと朝の挨拶や、他部門の方への接遇にも気を付けるようにした。患者様にもアンケート調査があり病棟の改善点を考える参考にしたい。

⑥看護研究は患者様に還元することを目指す。

今年度の看護研究は、心臓カテーテル検査での患者様の羞恥心を軽減する事を目的として検査用下着について考えた。以前から使用していた物と今回作成した下着を比較し患者様・医師からのアンケート調査をした。検査中の問題点を改善し患者様からは今回の下着に賛成の意見が多くあった。材料の確保と下着作成に時間を要するため現在使用していないが検討していきたいと思う。

平成14年はオーダリングが導入されます。導入後今までなされていたことが大きく変更されるので、安全な看護を提供するためにも周知徹底がスムーズにされるように重点病棟目標をオーダリングの導入に協力し取り組むとして患者様に安楽な入院生活を提供できるように病棟運営をしたいと思っております。